

環境省

# 6件の事業を選定 自動車リサイクル高度化支援

環境省では昨年10月、自動車リサイクルの高度化などに向け、自動車製造業者等、解体業者、破業者のいずれかの事業者を含む複数の事業者の連携による事業及び先進的な鉄リサイクル技術の開発等支援事業の公募を実施したが、このほど、その選定結果について発表を行った。

発表によれば、応募12件のうち、実現可能性、計画の具体性等の観点から審査を行った結果、「自動車リサイクル連携高度化支援事業」には、豊田通商株式会社「使用済み自動車由来の小型モーターくずからの銅資源回収」、一般社団法人日本ELVリサイクル機構「小規模解体業者の連携

によるレアメタルリサイクル」、株式会社マテック「自動車バンパーマテリアルリサイクルのため選別技術実証試験」、株式会社早稲田環境研究所「リユース部品の在庫『見える化』システムの構築とCO2削減効果情報提供プラットフォームを活用したインセンティブ付与に関する実証」の4件。「先進的金属リサイクル技術開発等事業」

には、大越工業株式会社「レアメタル等希少金属を含む複合金属素材の流動応力分離装置の研究開発」とネオジムリニアドライブ高度分別回収装置の開発、東北大学「廃自動車スクラップ随伴合金元素の高度有効利用に向けたマテリアルフロー解析並びに元素分配傾向基礎調査」の2件が選定された。